



子どもたちに快適な学び舎を！

カンボジア 小学校建設



カンボジアでは小学校の教室数が足りず、午前と午後で生徒を分ける2部制の学校がほとんどです。特に農村部においては、都市部に比べて教室不足は深刻で、3部制をとっている学校もあります。「もっと勉強したいのに…」と思う子どもが多くいます。

農村部の小学校は教室不足に加え、校舎の老朽化が深刻な問題です。子どもたちは安全な校舎で安心して勉強することができず、危険な状態にさらされています。雨が降ると、屋根に穴が空いている校舎から避難しなければならず、勉強に集中することができません。子どもたちが勉強するのに適切な教室設備の不足は、カンボジアの教育の質の低さに影響を与えています。

そのため、シャンティ国際ボランティア会は、未だに内戦の傷跡が残るバットアンバン州周辺の農村部にて小学校校舎建設を行います。

学びやすい環境を子どもたちに提供するために、ご協力を宜しくお願い致します。

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会

〒160-0015 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3F

電話 03 (5360) 1233 FAX 03 (5360) 1220

<http://www.sva.or.jp> Email: info@sva.or.jp

カンボジア 小学校建設とは？



【事業の概要】

既存校舎で教室が足りていなかったり、老朽化のため危険な状況にある学校で、子どもたちは雨風や騒音の影響を受けながら勉強しています。シャンティは、電気がない地域にも対応できる遮光性に優れた風通しの良い校舎を建設します。学校建設地の選定は、州政府の教育局の情報をもとに、当会職員が候補地の村へ調査や確認のために何度も通います。また、村人自身が行政との連絡や建築の進み具合の確認、盛り土作業などに直接関わる「住民参加型」の学校建設を行っています。一緒に事業に参加してもらうことにより、建設完了後も住民が学校に愛着を持ち、維持管理してもらうことと、子どもたちの教育の大切さを再認識してもらうことを目指しています。



住民総出で行う基礎の「盛り土」作業

【ご支援額】

・建設費：約52,000ドル（校舎一棟3教室、2016年1月現在）
この費用には校舎一棟の建設費用（トイレと給水設備を含む）のほかに、事前と完成後の定期調査や、小学校児童のための「トイレの使い方講習会」などの経費も含まれています。ご支援金額は、契約時の為替レート、また資材費高騰で変動いたします。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

【お振込先】

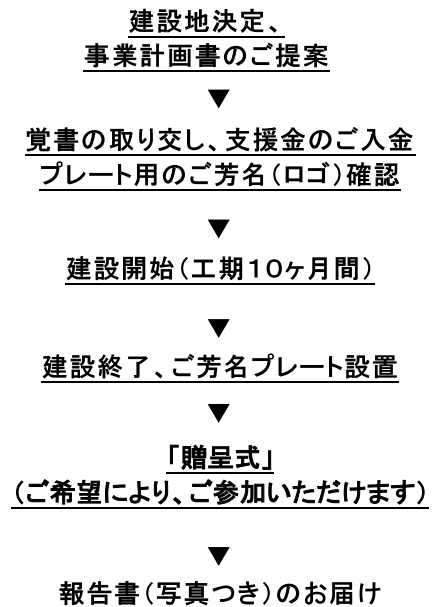
- 郵便振替 *** 郵便振替手数料免除**
郵便口座：00150-9-61724
口座名：公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
* 郵便振替用紙の備考欄に「カンボジア小学校建設募金」とご記入ください。
- 銀行口座からのお振込の場合にはご一報ください。

【新しい学校に通う子どもの声】

シェムリアップ州ボ村のセア・スレイ・ポヴさん(右) 新しいきれいな教室で勉強したいとずっと思っていました。夢がかなって本当にうれしいです。私は今、新しい教室で授業を受けていますが、とても広々としていて、教室の中も明るく、椅子も快適です。トイレもさっそく使っています。トイレはきれいで部屋も増えたのでもうトイレを我慢することや、外で用を足して誰かに見られる心配をする必要がなくなったので嬉しいです。私は勉強が好きなので、これからも先生の言うことを良く聞いて一生懸命勉強して、もっと成績が良くなりたいです。



【事業実施の流れ】



【所得税及び法人税の優遇措置について】

当会は特定公益増進法人です。募金には、所得税及び法人税上の優遇措置が適用されます。

*** 詳しくは、弊会東京事務所カンボジア事業担当までご連絡ください。**